

ひかり

2019 年 9 月号



St. Matthew

日本聖公会 三光教会

第 681 号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912 年(大正元年)11 月 2 日

すると、「主よ、救われる者は少ないのでしょうか」と言う人がいた。イエスは一同に言われた。「狭い戸口から入るように努めなさい。言っておくが、入ろうとしても入れない人が多いのだ。」

(ヨハネによる福音書 16:15)

自己紹介 ②

司祭 ヨナ成 成鍾

私の家族は 4 人です。連れ合
いの朴美賢(パク・ミヒョン)司祭
は、今沖縄教区へ出向し、名護市
にあります聖ヨハネ教会の牧師と
して務めています。子どもは 2 人
います。成隣(リン)という名前
の 9 月から大学 1 年生になる男
の子、そして成流(ユウ)という名
前の小学校 1 年生の女の子です。
聖職者とは寄留者として生きる
ために召されたものであります。
お導きによっていつ生活の場が変
わるか分からないわけです。私た
ちは韓国から沖縄へ、また沖縄か
ら東京へと導かれ、今日に至って
います。それゆえ、自分の意志と
は関係なく環境が変わることに耐
えている子どもには、いつも済ま
ないという気持ちを持っています。
そうであるにも拘らず、身も心も
健やかに成長する子どもは私たち
にとって大きな喜びであり、その
裏には神様のお守りと導きがある
ことを信じて感謝しております。

司祭として私は、霊性神学、に
関心を持つて学んで来ました。霊
性神学の中でも特に、霊性修練、
や、霊的指導(霊的同伴)、などの
実践に注目しています。霊性とい
うのは、教会と信仰の根幹になる
部分として、二千年の教会の歴史
の中で最も大事にされている営み
だと言えます。そうであるにも拘
らず、霊性は科学的な学問に基づ
く近代神学によって疎かにされ、
教会の中で姿が消されてしまいま
した。ところが、近代の終わりと
ともに改めてその大事さが注目さ
れつつあります。これから与えら
れる機会を活かして自分が学んだ
ことを少しずつ分かち合いたいと
思います。

牧師において何より大事なの
は、何かをする(doing)、こと以
前に、先ず主とともに、存在する
(being)、ことではないかと思いま
す。主とともに存在することを通
して教会と宣教は始まり、教会は
成り立ちます。主とともに生きる
ことの大事さを皆さんと分かち合
う牧師でありたく存じます。あら
ためて、皆さんとの新しい出会い
に感謝いたします。

9月・10月の予定

◆9月

8 日(日)

聖霊降臨後第 13 主日

10 日(火)

黙想会(午前 10 時半)

13 日(金)

殉教者主教プリアン

14 日(土)

聖十字架日

15 日(日)

聖霊降臨後第 14 主日

17 日(火)

聖書に学ぶ会(新約)

18 日(水)

(秋期聖職按手節)

19 日(木)

主教セオドル

20 日(金)

オーストラリア、オセアニア
の殉教者

21 日(土)

黙想会(午後 7 時半)

22 日(日)

福音記者使徒聖マタイ日

24 日(火)

(秋期聖職按手節)

29 日(日)

聖霊降臨後第 15 主日

30 日(月)

黙想会(午前 10 時半)

◆10月

1 日(火)

聖書に学ぶ会(新約)

4 日(金)

アシジのフランシス

6 日(日)

黙想会(午後 7 時半)

7 日(月)

聖霊降臨後第 17 主日

8 日(火)

10 月逝去者記念礼拝聖餐式

13 日(金)

黙想会(午前 10 時半)

15 日(日)

聖霊降臨後第 18 主日

17 日(火)

聖書に学ぶ会(新約)

18 日(水)

殉教者主教イグナシウス

20 日(金)

福音記者聖ルカ日

27 日(日)

黙想会(午後 7 時半)

28 日(月)

聖霊降臨後第 19 主日

29 日(火)

聖霊降臨後第 20 主日

使徒聖シモン・使徒聖ユダ日

夏休みの記録

- ・ ステパノ会（日曜学校）
- ・ 教区夏のキャンプ

楽しかったTシャツ作り

ステパノ会の夏まつりに、さんかしました。一ばん楽しかったのは、Tシャツを作ったことです。Tシャツのつくりかたは、はっぱに絵のぐをつけて白いTシャツにペタペタはって色をつけていきました。

わたしは、はっぱだけではなく手に絵のぐをぬって、その手をTシャツのせなかにつけました。もううは、はねみたいになりました。手に絵のぐをつけたときには、くすぐったかったです。かんせいしたTシャツを見たら、「うまくてきたな。」と思いました。またやりたいです。

絵「夏の思い出」



はじめてのキャンプ

7月にきょうかいのキャンプにさんかしました。

さいしよはドキドキしたけど、ともだちができていっしょにたこあげをしたり、バターづくりをしたり、しゃしんたてをつくったり、もりへいたり、ドキドキはなくなりました。よるはかぞくのことをおもいだしてねむれなかったけど、ぐっすりねることができました。

私は今年の夏、初めて教会の中高校生キャンプに参加しました。普段あまり教会に通えていないことや面識のある人が殆どいないということもあり、キャンプを楽しめるのがとても不安でした。しかし、それは全くの杞憂に終わりました。

集合場所に到着して驚いたことは

中高生夏のキャンプ



みんなの距離の近さ。普段自分よりも年上の人に敬語を使っているためそうでない状況は私の眼にはすごく新鮮に映りました。

また、このキャンプの醍醐味は普段真剣に考える事のない話題を真面目に皆で議論する、ということだと感じました。例えば「自由とはなにか」「未来に行くか過去に戻るか、現在のままでいいか」など、一人で考えてみることはあってもなかなか人と話し合うことは少ないであろう話題です。きっと、これはこのキャンプで出会った人たちとしか話せないと思います。私にとっても相手にとってもほぼ初対面なのにも関わらず、自分のことを包み隠さずあけすけに語り、仲の良い友達にも言わないような事も言えた仲間たちを、この先もずっと大切にしていきたいと切に思っています。

自分自身や人との関わり方からそんな難しい事だけでなくてゲームのことについてまで教えてくれた中高生キャンプは、私の今年の夏を色々な色に染めてくれました。今回踏み出した一歩をもとに前進していけると良いなと思っています。

男子会だより (8月)

8月18日の主日礼拝後、お昼にホットドッグ提供サービスを行いました。真夏の暑い日でしたが、用意した100個が完売できました。美味しかったとのことのお褒めの言葉もいただき、ありがとうございます。

8月の男子会定例会はお休みでしたが、次の2つの男子会主催の秋イベントの日程が決まりましたのでお知らせします。

① 久が原コンサート

(黒川ご夫妻の生演奏とガーデンプार्टー)

11月2日(土) 午後

② バーベキューパーティー

11月4日(月・振替休日) タ
方から。

これらのイベントは男子会メンバー以外の方との親睦も兼ねていきますので、お時間をお取りできる方は是非ご参加ください。詳しい内容は追ってお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

(記・平山 新)

カパティランのお話

6月30日(日)、フィリピン協働プロジェクトが主催し、カパティランのスタッフ永瀬良子さんのお話をうかがいました。

カパティランは、1988年、神崎雄二司祭が司牧しておられた立川聖パトリック教会に、フィリピン女性が訪れたことをきっかけにその支援を始め、タガログ語によるカウンセリングで家庭内の問題や在留資格などの相談に乗ってきました。やがて子供達の成長にともない、2015年からは、外国にルーツを持つ若者に支援を広げ、現在では月1回のごはん会、返済不要の奨学金給付(高校生月1万円、大学生月2万円をそれぞれ6人に)、年1回のサマーキャンプを行っています。また、多文化共生ホームステイをこれまでフィリピンで開催してきました。

ごはん会では、同じような経済状況の同年代の子供達と家族が出会う場を作り、サマーキャンプでは2泊3日、神崎司祭の野尻湖

の家に集まり、自然の中で自由に過ごし、ゆつくりと話し合う時間をもつてきました。

フィリピンでのホームステイを経験したある女性は、それまでさまざまなつらいことはみんな、母親がフィリピン人であるからだと母親を否定していましたが、自分が外国に出てみて初めて、外国で言葉もわからず、シングルマザーで暮らすことの大変さ、そして、血のつながりがなくても愛してくれる人たちがいることを知りました。今では彼女は、児童相談所の保育園で働いているそうです。

日本で暮らす外国にルーツを持つ子供達は、自分たちのアイデンティティに悩み、日々のアルバイトと勉強の両立に疲れ、時に日本で働くことから疎外されつつ、毎日を懸命に生きています。これから私たちは、外国にルーツのある多くの人たちを、国として受け入れようとしています。「イエス様ならどうされるかが原点」という永瀬さんのお話から、私たちが多くのことを深く考える種をいただきました。

三光教会には年に数回、詳しい活動を記したカパティラン・タイ

ムズが送られ、皆様にお配りしています。どうぞお読みください。
来年は、三光教会がフィリピンを訪問することになっています。
ご希望の方、ぜひフィリピン協働プロジェクトにご参加ください。

(記・安次嶺 佳子)

三光夏バザール(報告)

7月の毎主日に、三光夏バザールを開催しました。今年も皆様のご協力ありがとうございました。
収益は、物販及びお楽しみ券合わせ20万795円となりました。

例年夏バザールは信徒のみを対象としていますが、今年は旗の台六丁目町会の方にも、会館利用時にお買い上げいただきました。
また、昨年の秋バザーで出店いただいた「カフェ・猫のしっぽ」(旗の台6丁目)が閉店され、お店の備品類を献品いただきました。
秋の大バザールは10月27日(日)に開催いたします。引き続きどうぞよろしく願い致します。

(三光バザール連絡係 牟田 実)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2019年9月号(第681号)

発行者: 司祭 成 成鍾 編集・印刷: 三光教会広報委員会